

躁・うつと薬物、酒使用

該当する診断に○をつけて下さい。(主診断:ひとつ、福診断:複数選択可。)

ICD-10診断分類	主診断	副診断	躁	うつ
1. (F 1x. 0)急性中毒				
2. (F 1x. 1)有害な使用(心身の健康に害が起きているが、「依存症候群」「精神病性障害」は満たさないもの)				
3. (F 1x. 2)依存症候群				
4. (F 1x. 3)離脱状態				
5. (F 1x. 4)せん妄を伴う離脱状態(アルコール性振戦せん妄等)				
6. (F 1x. 5x)精神病性障害(使用后2週以内の発症、症状の持続は48時間で物質使用中断後6ヶ月以内)				
7. (F 1x. 57)精神病性障害(使用后2週以内の発症、症状の持続は48時間以上で物質使用中断後6ヶ月以上)				
8. (F 1x. 6)健忘症候群				
9. (F 1x. 7)残遺性障害(フラッシュバック、気分・認知・人格障害等)遅発性の精神病性障害(使用后2~6週の発症)				
10. (F 1x. 8)他の精神および行動の障害				

「主たる薬物」について、前項17)の「主診断」または「福診断」で「依存症候群」に該当する場合、過去1年間に
 おいて以下の項目のうち存在したものに○をつけて下さい。→「依存症候群」に該当しなければ、質問20)へ進んで下さい。

- ①()物質を使用したいという強い欲望あるいは脅迫感。④()耐性の存在。
- ②()物質摂取行動をコントロールすることが困難。③()物質使用中止あるいは減量時の生理的離脱状態の存在。
- ⑤()物質使用のためにそれにかわる楽しみや興味を次第に無視するようになり、摂取時間や回復に要する時間が延長。
- ⑥()明らかに有害な結果が起きているにもかかわらず、物質を使用し続ける。
- ⑦()「依存症候群」には該当するが、上記①~⑥の存在は不明。

「主たる薬物」について、現在または過去において『依存症候群』に該当する場合、乱用開始から『依存症候群』(=薬物使用の
 コントロール喪失などを目安として)に至るまでどのくらいかかったと考えられますか？

- 1. 約()ヶ月、または約()年 2. 『依存症候群』に該当するが期間は不明 3. 『依存症候群』にかいとうしない

最近1年間における「主たる薬物」の主な入手経路は以下のうちどれですか？(複数選択可)

- 1. 最近1年間は使用していない 2. 友人 3. 知人 4. 恋人・愛人 5. 家族 6. 密売人(日本人)
- 7. 密売人(外国人) 8. 医師 9. 薬局 10. その他() 11. 不明

これまでに、薬物使用に直接起因しない精神的障害あるいは生活上の体験として、以下のものがありましたか？

- 1. 気分障害 2. 不安障害・神経症性障害 3. ストレス反応・適応障害 4. 身体表現性障害
- 5. 摂食障害 6. 多動性障害 7. 行為障害 8. 被虐待体験(性的/身体的/近親者による/非近親者による)
- 9. 被イジメ体験 10. その他() 11. なし 12. 不明

	祖 父	祖 母	祖 父	祖 母	
職歴・学歴					
病 名					
問 題 点					
	父 (実, 継) 生死 年令	父母の離婚	母 (実, 継) 生死 年令		
住 所 学 歴					
職 業					
病 名					
問 題 点					
子供のしつけ方	同胞数	性格	長所	短所	
2) 同 胞	第1子	第2子	第3子	第4子	第5子
年令・生死					
住 所					
学 歴					
問 題 点					
生 活 状 況					
病 気・性 格					
精神疾患の家族歴はありますか？(薬物関連精神疾患またはその他の精神疾患。) 1. なし 2. 父親 3. 母親 4. 同胞 5. 子供 6. 祖父 7. 祖母 8. 父親の同胞 9. 母親の同胞 10. その他() 11. 不明 *「あり」の場合、その精神疾患名() 不明)					
特記すべき事項 神経症、精神病、アルコール中毒、自殺、犯罪、外傷					